

導入事例

株式会社カービュー

導入サービス ■ Microsoft Office 365 導入・運用支援サービス

お客様プロフィール

carview.co.jp

所在地	東京都中央区晴海一丁目8番10号 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 16階
設立	1996年9月5日
従業員数	133名（2011年12月末日現在）
事業概要	インターネット広告事業
URL	http://www.carview.co.jp



管理本部 人事総務部
総務・情報システムグループ
柴田 悠司 氏

株式会社カービュー（以下、カービュー）では、マイクロソフト社のクラウドサービス Microsoft Office 365 Exchange Online（以下、Office 365）を採用。Microsoft Exchange から移行することで、エンドユーザの利便性を高めるとともに運用管理にかかるコストを大幅に削減することに成功した。Office 365 を導入した経緯と効果について詳しく話を伺いました。

「Office 365 を導入することにより、利用コストを半減。
移行サポートによりスムーズに導入できました」



導入のポイント

- クラウドによるメールシステムを導入し運用負荷を大幅に削減
- ASPサービスから移行により利用コストを半減
- メールボックスの容量が80倍以上にアップ
- 充実の移行サポートによりスムーズな導入に成功

導入の背景

メールサーバのさらなるコスト削減と運用管理負荷の軽減をめざして

“クルマにフォーカスした世界一のインターネット・カンパニー”を目指しているカービュー。同社ではメールシステムとして Microsoft Exchange を採用している。Office 365 を導入にいたるまでの経緯について、同社管理本部 人事総務部総務・情報システムグループに所属する 柴田 悠司氏は次のように説明する。

「以前は社内で Microsoft Exchange のサーバを運用していましたが、数年前よりASP型のメールサービスを導入することで、引き続き Microsoft Exchange によるメールシステムを利用してきました。ASP型のサービスは、導入当時、コスト削減と運用管理負荷を軽減するために有効な選択でしたが、新たにクラウド型サービスの Office 365 が提供されたことで、さらなるコスト削減と運用管理負荷を軽減できると考え導入を検討することにしました」（柴田氏）。

さらに、PCだけでなく携帯電話やスマートフォンからもより手軽にメールシステムを利用できるようにしたり、メールボックスの容量を大幅に増やせることなどにより、利便性の高いメール環境を提供することができることも Office 365 の導入を推し進める要因となったという。

選定要件

システムの信頼性と使い勝手については慎重に検討

現在のビジネスにメールは不可欠な存在。それはカービューでも同様である。そのため、メールシステムの移行にとともに、メールが利用できなくなってしまうたり、エンドユーザの使い勝手が悪くなってしまうようなことは絶対に避けなければならなかった。そのため同社では、システムの信頼性と使い勝手については慎重に検討を重ねたという。

「ASPを利用しているときは、システムメンテナンスなどにより、一時的にメールを利用できないときもありました。Office 365 は、SLAにより稼働率99.9%が保証されており、万が一の場合には返金制度もあります。またマイクロソフト社が直接運営するサービスなので、信頼性が高く、ファシリティの環境なども充実していると考えました」（柴田氏）。

さらに、ソフトバンク・テクノロジーがすでに Office 365 を全社的に導入しているという実績があることも、Office 365 を安心して利用できると考えた大きな要因の一つだという。

「Office 365 はサービスの提供が開始されて間もないので、機能的には最新の

機能を利用できるという期待感がありますが、一般論として実績面での不安はあります。しかし、ITの専門家であるソフトバンク・テクノロジーが導入し、実際に運用しているということでそのような不安は払拭できました」（柴田氏）。

一方、エンドユーザの使い勝手については、Office 365 に移行しても Microsoft Outlook のクライアントソフトをそのまま利用できるので、大きな混乱や使い勝手が悪くなるといった問題は発生しないと判断したという。

「Microsoft Outlook のクライアントソフトをそのまま利用できるだけでなく、Microsoft Outlook Web App も使い勝手がほとんど変わらないので、エンドユーザ側の混乱はほとんど無いだろうと考えました」（柴田氏）

移行時の課題

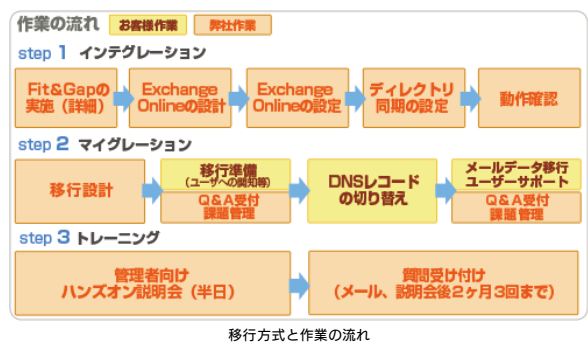
短時間かつスムーズに移行ができるよう、ソフトバンク・テクノロジーへサポートを依頼

カービューでは、実際のシステム移行に関してできるだけ短時間かつスムーズに移行ができるよう、ソフトバンク・テクノロジーへ移行計画の策定と移行作業の実施を依頼した。

「移行によるトラブルや移行中にメールを受信できなくなってしまうといったことがないよう、システム側の設定はほとんどすべてソフトバンク・テクノロジーにお願いすることにしました」（柴田氏）。

ただし、個人メールボックスの移行に関しては、手順書を配布しエンドユーザに作業を実施してもらったという。

「移行の際は、旧メールボックスのデータをドラッグ&ドロップで新メールボックスに移行できるようにしました。移行期間中は、ソフトバンク・テクノロジーにヘルプデスクを用意してもらったので、大きな混乱もなくスムーズに移行を終えることができました」（柴田氏）



効果と評価

利用コストが半分以下に削減され、メールボックスの容量も80倍以上に

柴田氏によれば、Office 365 を導入したメリットとして、以下の4つのポイントが挙げられるという。

(1) 利用コストが半分以下に

ユーザあたりの利用コストを半分以下に抑えることができました。

(2) 管理画面のレスポンスが向上

Office 365 の管理画面はとても使いやすくレスポンスも速いので、メンテナンス作業に掛かる時間と負荷を大幅に軽減できました。

(3) AD との連携によるユーザの一元管理

AD (Active Directory) と連携してユーザを管理できるので、ユーザ情報の変更や削除などの作業が確実かつ簡単に実施できます。

(4) メールボックスの容量が80倍以上にアップ

これまでユーザあたりのメールボックスの容量は約300MBでしたが、約25GBになったので、実質無制限にメールを保存できるようになりました。

信頼できるパートナーであり、Office 365 の「先輩」でもあるソフトバンク・テクノロジーに相談しながらメールシステムの移行と Office 365 の導入を進めることができたので、「安心して移行プロジェクトを進めることができました」と説明する柴田氏。

無事、メールシステムの移行が完了したことを受け、誤送信対策やアーカイブなどにも取り組んで行きたいと語る。

「ソフトバンク・テクノロジーには、引き続き、積極的な提案と最新情報の提供をお願いできればと期待しています」（柴田氏）。

同社では、Office 365 をベースにさらなるメール環境の充実を図っていく考えだ。



ソフトバンク・テクノロジー株式会社 早坂 康行 (写真左)、香川 敬 (写真右)

お客様窓口

SBテクノロジー株式会社

〒160-0022

東京都新宿区 6丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア 17階

TEL : 03-6892-3154

E-MAIL : sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp

URL : https://www.softbanktech.co.jp/